

宮崎大学発 都農町かわら版

令和6年11月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせしま
す！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

☆☆都農に来る宮大のひとたち紹介☆☆

PBL木和田プロジェクトチーム

PBL 1・2年生のうち、木和田地区の活性化
プロジェクトに関わるチーム約20名が3グループ
に分かれて活動をしています。全員6月に地区の現
況を視察しました。

11/16(土)には、自然塾チームのうち6名が木
和田地区公民館でキャンプの試行宿泊しました。公
民館活用や中高生を対象にした自然塾について地区
住民の黒木義一さんと打ち合わせし、今後ブルー
ベリー園づくりや休耕地再生の企画も学生がアイ
ディアをまとめていく予定です。

次回は12/22(日)に不登校の子どもたちなどを
対象にツリークライミングイベントを開催します。
木和田に少し賑わいが生まれています。



11/16休耕地での種まきの様子

11/14寺迫地区お日待ち@公民館のお手伝い

伝統ある寺迫地区のお日待ち行事が、この度初めて公民館で
の開催となりました。2日間行事の一日目、餅つき後の餅切り
のお手伝いに瀬川ゼミ4年生、PBL1年生が参加しました。ど
のように伝統を引き継ぐか、地区内での人手をどう確保するか、
瀬川ゼミの研究課題を学生が肌で感じる機会となりました。



11/1 地域探索実習 | 旧赤木家住宅を訪問

地域学部

今年度の1年生15名の探索実習は、重要文化財としての
修復工事を終えた旧赤木家住宅の今後の利活用をテーマに行
いました。文化財保護法や歴史まちづくりの制度などについ
て事前学習をした学生は、実習当日に中央公民館にて社会教
育課長、勝目町議からそれぞれのお立場、視点による講話を
聴きました。その後、旧10号線商店街中心部に位置する住宅
内部を見学させていただき、歴史を肌で感じる時間となりま
した。また11/8にはオンラインで財団の山内氏、赤木家ご子
孫の方からもお話を伺いました。授業では、今後の都農町の
まちづくりへの活かし方を各グループごとにまとめてポス
ターを作成、11/29に発表します。



11/10 PBL ハーベストフェスティバルで 子ども遊びブース企画を実施しました！

3世代で楽しめるワインの丘を目指すワイナリーのフェ
スティバルで多くの家族連れのお客様がいます中、子ども向
けの催しが少ないことを受け、PBL授業で子ども遊び企
画を計画しました。ワインに関連する遊びを考案して学生
として初出店、紙ストロー飛行機づくりをブースで、ワイン
の空ボトルボーリングとコルク投げ遊びを遊具広場で開
催しました。13名の学生スタッフが、参加した子ども延べ
約180名の親子連れを楽しませていました。

子どもにコルクやワインのボトルを触る
機会を、と考えられた遊びで少しでも記憶
に残る一日になったら◎です。



10/22~11/12 けんこう講話巡回講座

【10/22 舟川・内野々地区】

高齢になり町中でのイベントから少し足が遠のいているという方もいらっしゃいましたが、悪天候にも関わらず8名がご参加くださいました。訪問診療に関する質問を多くいただき、良い機会になったようでした。



【11/5 下浜地区】

在宅医療や寒い時期に多い病気の予防などについてお話ししました。当日はとても暖かい日でしたが、気温差による体調不良やお風呂場の寒さに注意することなど、冬場に向けた対策にお役立てただけると幸いです。



【11/12 中町地区】

予防接種を中心にお話をしました。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、带状疱疹なども予防接種によって発症、重症化を予防できます。自分も受けた方が良いか、費用は、など質問も活発でした。都農町は接種に各種助成金が準備されています。病院や健康管理センターへお尋ねください。



10/11 つのまるケアミーティング

～福岡県大牟田市白川病院 医療連携室 猿渡進平室長 講演～

大牟田市での20年の活動をもとに「高齢者本人の声を起点とした地域づくりの実践」というテーマでご講演いただき、34名が参加しました。

認知症を支えよう！と始めた「みんなで見守る活動」で得られた成果もある一方で、周りの過剰な心配が外出の抑制に繋がってしまう逆の効果の表れについても紹介がありました。見守りをするだけでなく、本人の声や気持ちを聞き、皆が生き生きと過ごせる社会であるための工夫が必要と話されました。

次回11/28のつのまるケアミーティングは、この講演を参考に都農町でできる取組みについて皆で考えます。



コラム

つのまるケア講座 日常の「コマ」 by 吉村先生

一日仕事を終えて宮崎駅に着く時、愛犬のタンちゃん（7歳トイプードル）が、天気がいいと妻と一緒に駅で出迎え、私を見つけると尻尾を振って喜んでいきます。一日の疲れがどこかへ飛んでいきます。ある時、散歩中に公園で小学生から声かけられました。「カマン？」と。カマン？カモン？英語？なんのことやらわからないまま、不安げな様子で何回も語尾が上がる感じでカマン？と聞いてきます。疑問文でした。わかりました！「（この犬は）噛まないですか？」の宮崎弁でした。「大丈夫だよ」と答えると安心して撫でてくれました。ホッとしました（笑）。



☆☆今月の研修医紹介☆☆

11/5～11/29

杉浦耶名（すぎうら かな）先生 町立病院にて勤務

愛知県名古屋市出身 趣味：ジョギング、音楽をきく

ひと言：11月の1か月間、町立病院で研修させていただいております。患者さんの病気のことだけでなく、日々の生活や町民の皆さんとのつながりを知ることができ勉強になります。2月の尾鈴マラソンに参加するので、また都農町の魅力を知れたらと思います。

11/10ハーベストフェスタ教職員バスツアーを開催

宮大の教職員が都農を身近に感じるきっかけづくりとして、都農ワインハーベストフェスティバルの教職員向けバスツアーを企画催行しました。ボランティアやPBLの学生が活躍する中、理事をはじめ教職員がワインの丘で都農の風を感じ、食とワインと音楽を楽しみました。また、工場見学ツアーでは赤尾社長の案内、醸造の専門的な話に興味津々聞き入り、更に都農ワインのファンが増えました。来年のツアー予約をとという声もあり大変好評な企画でした。今後とも、大学と都農町、都農ワインをつなぐ様々な機会創出をしていきます。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2024年11月25日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）